Message-2-One

メールマガジン発行システム構築素材

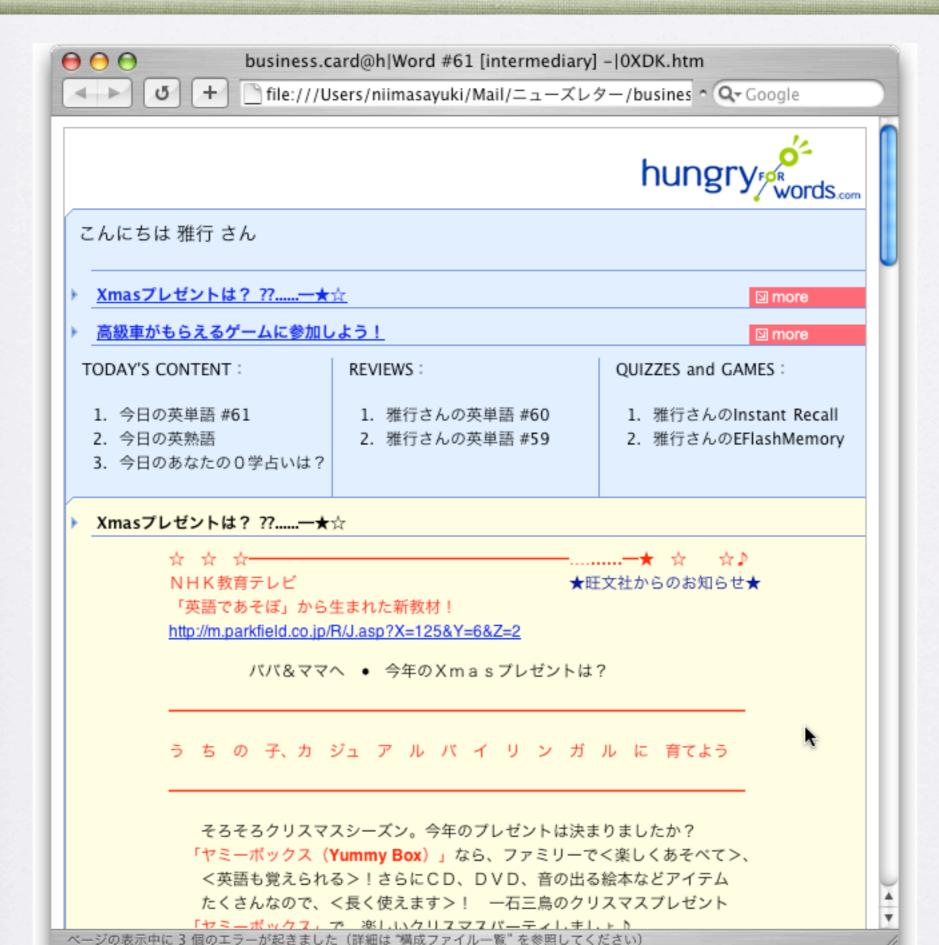
新居雅行 (msyk@msyk.net)

自己紹介

- 新居雅行(にい まさゆき/msyk.net)
- 業務内容
 - Apple、ファイルメーカー社等のトレーニング、慶応義塾大学での講義など
 - テクニカルライター(雑誌、書籍)
 - 開発・マーケティング関連コンサルティング
- オープンソースプロジェクト:OME
 - http://mac-ome.jp/

メールマガジンの背景

- ・メール利用者の増大(パソコン、携帯)
- Webマーケティングの限界
- 違った形のコミュニケーションが可能に
 - ・メールマガジン
 - 個別メール など



メールの効果

- ・直接経費が安い
 - ・印刷不要、インターネット代のみ
- スピーディーに発行
- ・セグメンテーション、個別処理が可能
- ・リッチなコンテンツ
 - HTMLメール、ビデオ配信も可能

メールのデメリット

- スパム、オプトアウトメールの顕在化
 - ・まずい運用ではブランド効果の逆行
- ・発行ミスは取り消せない
- メールを読まない顧客
- 定期発行は大変

スパムと思われないか?

- ・作法に従っていれば、スパムには思われない
- しっかりした内容、読むべき人への送信が実現すれば、問題はない
- 発行主体の明確化
- ・購読解除の手続きの明確化

発行ミスは防げないか?

- 発行のワークフローに「テスト発行」を入れることで、大幅に防ぐことが可能
- システム化により「手作業」を減らすことで、改善は可能

コンテンツ作成は大変か?

- 決して楽ではない
- システム化により、テキストと写真を用意すれば発行できる
- デザインはひな形を用意しそれを利用するので、毎回デザインをチェックしなくてもいい

どうせメールをして も読まれない?

- メールの内容と読者が一致すれば必ず読んで もらえる
- 魅力的なコンテンツがあれば、必ず見てもらえる。これは、メールに限らないどんな場合でもあてはまること

より効果的にメールを活用するには

- ・制作システムの自動化
- しかしながら、カスタマイズが必要になる
- ・そこで、構築のための素材を提供
 - ユーザによるカスタマイズ
 - ベンダーによるシステム構築+コンサル ティング

発行のために必要な機能

- コンテンツ管理
- 購読者管理
- シングルパートのHTMLメール
- ・大量メール配信
- オンライン、オフラインの設計の難しさ

Message-2-One

- オンライン、オフラインでの編集システムを 提供
- ・会員収集の仕組みを提供
- シングルパートのHTMLメール送信を可能
 - デザインをカスタマイズ
- 素材の組み合わせでシステム化

Demo

M20を利用するには

- ライセンス形態
 - ・試用はフリー(契約は必要)
 - ・業務利用、販売によってライセンス料
- 開発者へのサポート
 - 「汎用的」と判断される機能は随時追加 し、ライセンサーに提供

M20を使った展開

- ・自社の販売促進、告知など
- ・メルマガ発行の代行業務
- ・プロモーションメール発行の代行

M20を使った展開

- ex. デザイン事務所
 - 顧客がWebからメールマーケティングに興味を持った場合
 - M2Oを使ってシステム提案
 - デザイン、サポート業務を請け負う

M20を使った展開

- システムインテグレータ
 - 請け負い業務の一環として、メール発行システムを受注
 - 顧客のニーズに応じてカスタマイズ
 - 必要ならWebホスティング

メール発行システムのポイント

- 手作業をなくしシステム化
 - ・手作業は信用できない
- ・しかしながら、完全な自動化は無理
 - ・機能と運用規則の整合性
 - つくり込みよりワークフロー構築
- コンサルティングの必要性

Webからメールへ

- ・個人に対する密なコミュニケーションへ
- ITの技術で効果的な展開
- オープンソースを素材として展開
- Message-2-Oneを使って実現